

## 本年度のクラブ運営方針

会長 宮田 幹二

2013年7月に入会、瞬く間に十年が過ぎ、本年度の会長を拝命しました。この一年間、皆様のご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。定年退職後の自由な時間を楽しく使って、ロータリークラブ（以下 RC と略す）の奉仕活動に貢献できればと願っています。

本年度は、豊中 RC 創立 65 周年となります。このような年に、当クラブの武枝会員が第 2660 地区 IM 第 1 組 15RC のガバナー補佐を務められます。すでに前年度から大変なスケジュールで日々活動されており、今年度は IM 第 1 組 会長・幹事会を主宰されます（開催数 6 回）。当クラブではサポート委員会（米田委員長、矢口委員長補佐）が全面的にサポートします。



ここ 3 年余りのコロナ禍はようやく終息し、社会生活が平常にもどってきました。そのため、RC 活動も基本的には以前のような活動にもどることになります。しかし、日本・世界の情勢は大きく変化しています。日本でもデジタル社会への移行が大きく進み、地球環境を強く意識する活動（SDGs）が広く浸透し、機会均等からさらに進んで多様性・公平さ・インクルージョンを求める運動（DEI）が広がりつつあります。恐ろしいことに、ウクライナ侵略により核戦争の勃発が危惧されています。

このような中で、RC 活動にもいろいろな変化が起こりつつあります。これらの変化は、国際ロータリー会長のテーマ「世界に希望を生み出そう！（CREATE HOPE in the WORLD）、第 2660 地区のビジョン(2022-2023 より有効)、中期 3 ヶ年目標(2022-23～2024-25)、年次目標(2023-24)に現れています。詳しくは、前頁までの掲載記事を御覧ください。

本年度の豊中 RC の運営について、主に五大奉仕活動に沿い、具体的に考えてみました。

(1) R 財団への寄付：ポリオの根絶を目指す国際ロータリーと第 2660 地区方針への賛同は不変です。例年のように、R 財団寄付目標を達成します。さらに、財団補助金活動に加わり、地区補助金やグローバル補助金を獲得します。

(2) クラブ奉仕：会員間の親睦を深める活動を例年通り行います。例会は月 3 回（曜日変更の

例会を含む、8月は2回、6月は4回)です。原則として、月初の第1例会では国歌やロータリーソングの斉唱を行い、第2・第3例会では「ロータリーの友」の内容紹介あるいは唱歌斉唱などを行います。夏・秋・クリスマス・新年・春の家族会、創立記念日例会は、例年通りで、秋・春のゴルフ懇親会も同じです。定例理事会報告、各種委員会報告は、その都度行います。

なお、ガバナー公式訪問の例会は、昨年から豊中南 RC との合同例会となり、隔年で担当します。本年度は豊中南 RC が世話役です(10月12日(木)、12:30開会、例会場は同じホテルアイボリー)。ガバナー補佐訪問は、9月26日(火)と3月12日(火)で、例会後にクラブ協議会を行います。

例会以外にも、適当に日時・場所・テーマを決めて、少人数による「・・・を囲む会」を開催し、開放的で自由な談笑を楽しみませんか。例えば、新会員、奨学生、家族、他クラブ会員、未会員などを囲む会とし、家族・友人・知人も自由に加わる談笑の場を作りましょう。

(3) 広報活動・会員増強：ホームページが業者委託で更新されます。豊中 RC の奉仕活動を体系的に紹介し、最近の SNS (インターネット交流サイト) にも対応します。Instagram では画像や動画を豊中 RC 内外に発信し、Line では会員間で簡単に気軽な連絡が随時行えます。デジタル社会に合わせた広報活動が、他の RC との交流を促進し、会員増強にもつながるのではないのでしょうか。なお、国際ロータリーは、My Rotary への全員登録を会員に要請しています。

(4) 職業奉仕：職場見学会を秋の家族旅行と兼ねて行います。奈良県明日香の地は、高度経済成長時代に乱開発から守られ、古代の飛鳥時代の風土を残しています。これは、多数の先人の努力の賜物です。他にも職場見学先があれば、提案してください。

(5) 社会奉仕：子ども食堂への支援を続けます。例年通り、豊中市美術展、豊中祭、豊中市環境展などに協賛します。もし大災害が起これば、募金を行い、支援金を送ります。地区補助金への応募は、奨学金と子ども食堂支援を交互に行っています。今年度は奨学金を獲得し、来年度は子ども食堂に応募します。

(6) 国際奉仕：タイの第 3550 地区シーロム RC との国際奉仕 (GG2236914、金額 47,000 ドル)では、昨年度北部スコートアイ県にあるシーサンウオンスコートアイ病院に医療機器 (人口呼吸器、心電図測定装置) が寄贈されました。この国際奉仕活動を成功裡に終了させるために、本年度は豊中 RC 会員 (複数) の現地視察が必要となります。

(7) 青少年奉仕：社会奉仕と共同して、子ども食堂支援を続けます。秋の RYLA セミナー(ホストクラブ；くずは RC, 2023.11.3(金)~5(日))への参加が必要です。春の RYLA セミナーは本年度は開催されません。出前授業と教育フォーラムは、学校や教育関係者の状況次第となります。

(8) 豊中 RC 奨学生：大阪大学豊中キャンパスの留学生への支援を続け、国際交流を深めます。豊中 RC 奨学生については、現在一名は理学研究科博士課程院生ですが、他一名は募集範囲を従来より広げます。豊中 RC の地域性を考慮し、大阪大学豊中キャンパスの大学院生とするのは同じですが、専門領域を問わないことにします。国際交流の範囲がより広くなると期待できます。

(9) 米山奨学生：米山記念奨学会を支援します(会員一人当たり寄付目標3万円)。現在、米山奨学生を一名受け入れています。奨学生受け入れについては、クラブ間の順位付けがありません。普通寄付と特別寄付を併せて、一人当たり平均寄付金額を高くすることが必要です。

(10) 事務工程の見直し：クラブの一般会計と奉仕会計については、エクセル使用により時間経過が分かるようになります。これにより、年間を通して、各委員会の会計収支を会員が俯瞰的に見通すことができます。そのため、年度初めの予算決定、年度末決算が容易に行えます。また、全会員が随時収支状況をチェックできるようになり、活動資金の有無を検討できます。

(11) 地区大会(2023.12.8(金)-9(土)、ザ・リッツ・カールトン大阪&NHK ホール)、IM 第1組ロータリーデー(池田くれは RC、2024.3.2(土)、池田市不死王閣、講師の一人は吉川秀樹 豊中 RC 元会員)に参加しましょう。ロータリーデー終了後には、フレッシュロータリアン交流会が行われます。

(12) クラブ合同の企画：昨年は豊中 RC・中之島 RC 合同の企画として、朝日カルチャーセンター連携シンポジウムが開催されました。本年度もガバナー補佐の主導で、このような RC 合同企画や豊中地区三 RC の合同例会が企画されています。大阪舞洲での万博の開催が近づき(2025年4月から10月)、第2660地区も積極的に参加します。今後、豊中 RC もこの活動の一翼を担うこととなります。